

靱まちづくりビジョン 第1回ワークショップ参加者アンケート結果

- 開催日 2016年（平成28年）8月16日
- 参加者 83名（合計：行政職員も含め約110名）

町内会名	参加者数	
御幸一	10	
御幸二	2	
御幸三	4	16
原	2	
鍛冶	2	
祇園	2	
石井	4	
石井浜	4	14
関北	2	
関中	1	
関南	3	
道越	4	
西	8	18
江之浦北	1	
江之浦中	3	
江之浦南	8	
江之浦元町一	0	
江之浦元町西	1	
焚場	3	16
平一	6	
平二	1	
平三	7	14
その他	5	5
合計		83

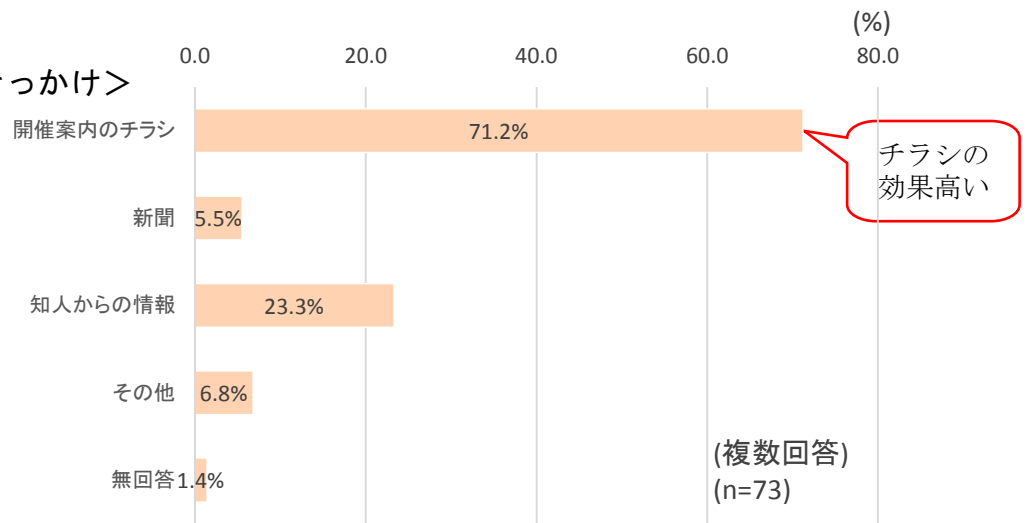
- 参加者アンケート回答者 73名（うち、名前記入者40名）

<名前記入者の年代>

	人数(人)
20歳代	1
30歳代	6
40歳代	8
50歳代	7
60歳代	10
70歳代	4
80歳代	1
不明	3
	40

■ 回答内容

<開催を知るきっかけ>

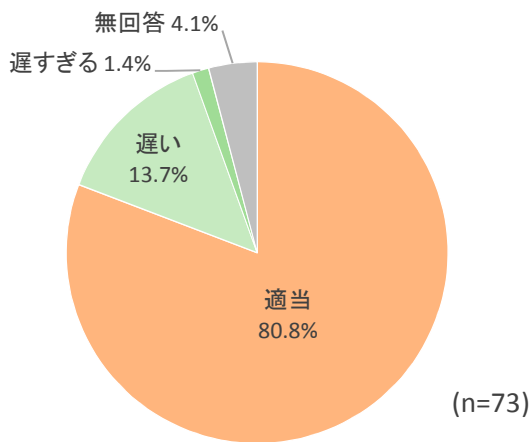


※新聞 (4) : 社名記述あり (朝日新聞) 2件

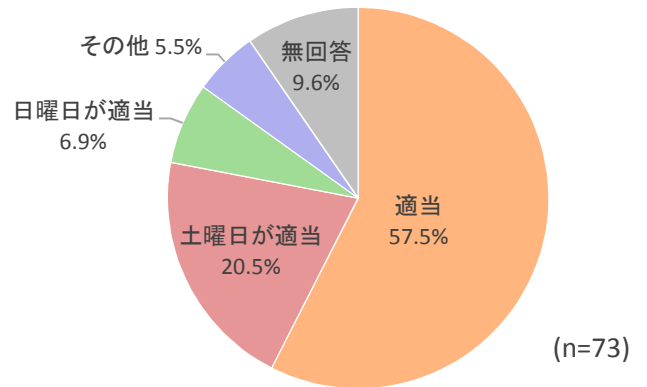
※その他 (8) : 声かけ、フェイスブック、町内回覧板、支所の人、緊急徴集

●開催に関する時間、曜日、ワークショップの長さ、会場については概ね適当であったといえる

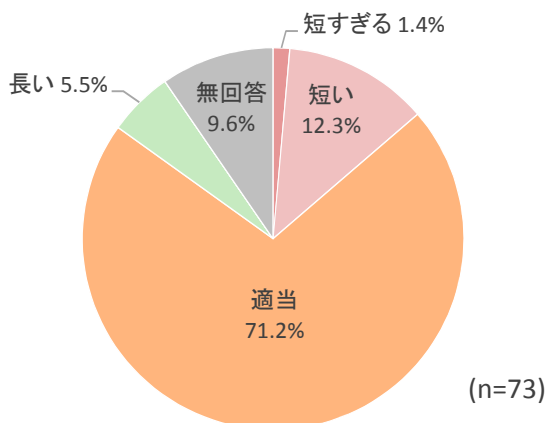
<開催時間帯>



<開催曜日>



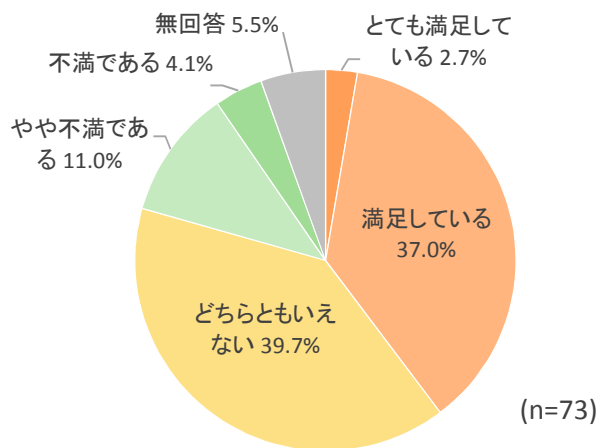
<ワークショップの長さ>



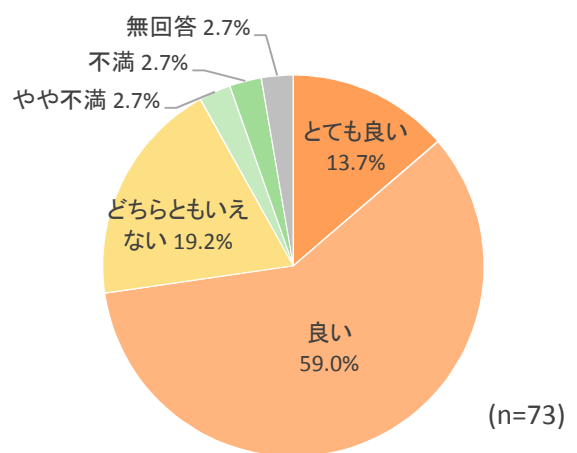
※その他 (4) : 曜日より早めの周知 2件
(盆のせわしない時に)
各町の催事のない時
曜日限定しない方が良い

- ワークショップの進め方は「満足している」と「どちらともいえない」が約4割ずつ
- 軀まちづくりビジョンをつくることへの理解については、「どちらともいえない」が約2割、「理解できなかった」も約1割みられる
- 軀の将来を考える上でワークショップは有意義だったかについては、過半数が「有意義」と感じているが、「どちらともいえない」が約3割。「有意義と感じていない」も約1割みられた

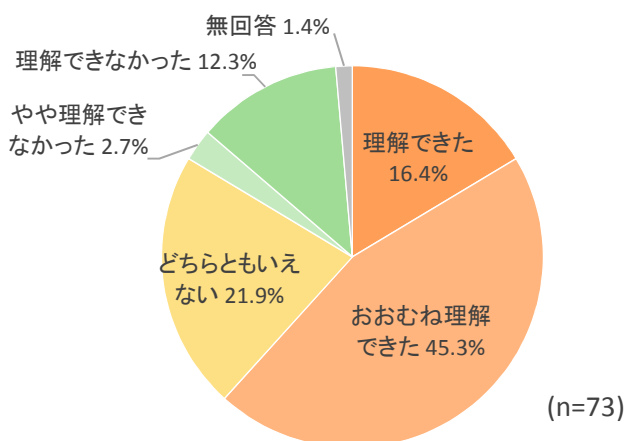
<ワークショップの進め方>



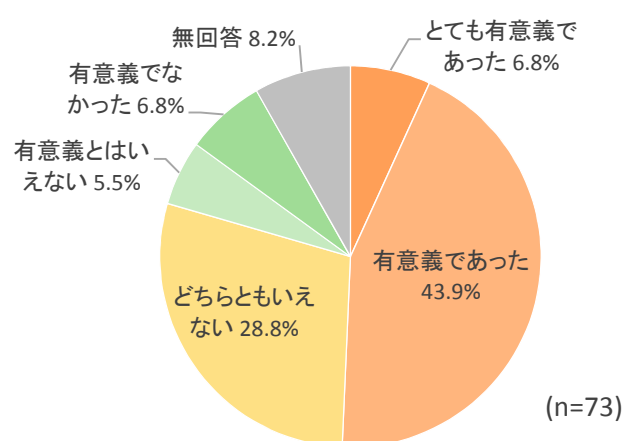
<ワークショップの会場>



<軀まちづくりビジョンをつくること>



<軀の将来を考える上でワークショップは有意義だったか>



- 自由意見の記述では、運営に関する提案も多くみられる一方、軀まちづくりビジョンのイメージが想像しづらいことを指摘する意見もみられた
- 今後、回数を重ねる中で、理解が深まるよう工夫する必要がある

＜鞆まちづくりビジョンを作成することや、ワークショップ形式の話し合いで進めることについてお気づきの点＞

■ 提案 ■ 指摘・質問 ■ その他

ご意見	町内会
じっくり国、県、市で協力して進めてください。	西
今日は第1回目ということですが、全5回で着地点は見つかるのでしょうか？ 漠然としすぎな内容のようで・・・期待はしますが。	—
回を重ねるごとに参加人数が増える気がします。大きな会場の準備が必要となるのでは？	水呑町
架橋計画が撤回された今、「鞆まちづくりビジョン」は必要。住民との対話形式がとてもよかった。	石井
話が進むとある程度メンバーが別れたほうが深い内容の話ができるのではないかと思う。	平二
長期ビジョンには若者の職場を増やす対策が最重要。	西
まちづくりビジョンは必要です。何年もそれができず、道路がいるいらないの埋め立て賛成or反対の話ばかりで、鞆の現状、危機などについて前向きに、建設的に話し合われることはなかったですから。しかし、参加者の方からもありましたが、発言できる方、“ワークショップ”というものを理解し、参加される方はごくごく一部です。その他多くの方の声を必ず吸い上げるという気持ちで、そのやり方を考えてください。行政に予算、計画があるのもよくわかりますが、行政、ファシリテーターの方々、そして鞆の人々が鞆のこと(歴史、自然、現状等)をしっかり学び、考え抜いた時に初めてまともに入ってください。	町外
マスタープランの反省を踏まえてというのが重要だと思います。	関南
意見を出しやすい。	御幸一
ふせんを貼ったのですが、見えない。スクリーンに映してもらえれば。	江之浦南
桑子先生に一任。	道越
すべての参加者の意見を冊子にまとめて見られるようにしてほしい。(次回の資料にもしたい)できるだけ横文字は使わないでほしい。	西
ワークショップ形式で鞆の町の方々の意識改革のひとつになればよいと思う。互いに前向きな意見交換ができるようになればと思う。	西
ふせん紙の貼った地図を見ながらグループでディスカッションをしてみたかった。	道越
各自、批判ではなく提案を。	焚場
表面的にならないように前回の県との話し合いの二の舞にならないよう県との話が重要になると思う。	御幸一
奥の深い話、よくわからない内容もありましたが、鞆住民としてよい時間に参加させてもらって良かったです。	御幸三
世代別、各町別単位での話し合いも必要。特に各町単位で話し合うことは付き合いの長さ、距離感を考えると議論が深まると思う。市役所の方々の紹介は不要と思う。	道越
ビジョンのターゲットを明確にしてほしい。町民のビジョンなのか、鞆の浦全体のビジョンなのか・・・。	石井
※当たり障りのない話で、常に話題になっていることの蒸し返し。問題がずれている。	石井
・ビジョンが現実のものになるのか・・・？絵に描いたモチ？・市のアライバづくり・・・(住民の意見を確かに聴く会を設けました)だけに終わらないようにしたいものです。	御幸一

＜鞆まちづくりビジョンを作成することや、ワークショップ形式の話し合いを進めることについてお気づきの点＞ つづき ■ 提案 ■ 指摘・質問 ■ その他

ご意見	町内会
まちづくりビジョンから具体的にどのような政策をどのような過程を経て作り上げていくのか？（関係する行政主体、庁内の課、庁内体制etc）について明確な説明がほしい。政策決定過程に住民がどのような形で関わることができるのかよくわからなかった。	—
「まちづくりビジョン」という単一定義に収めることができるのだろうか？様々な意見が出るが、意見の着地点が見えない。話すことでガス抜きをしているようにしか見えない。	石井浜
既に決まっている「埋め立て架橋」にはふれるなということだが、まちづくりには埋め立て架橋は絶対に必要である。	関南
初日なのでよくわからない。	関北
ワークショップに反対を述べる気はないが、最後の「地域まちづくり計画との関係」で策定主体：鞆学区まちづくり推進委員会となっている。「鞆学区まちづくり推進委員会」の実体（正体）が何かわからないまま、市が作製することに「デキレース」を感じてしまう。「鞆学区まちづくり推進委員会」を公正にするべし。	道越

＜その他、ご意見、ご質問＞ ■ 提案 ■ 指摘・質問 ■ その他

ご意見	町内会
とても面白かった。個々の持つ問題を垣間見ることができた。	水呑町
これまでの架橋賛成派、反対派の“代表者”による非公開の会議と違い、ワークショップという形で誰もが参加でき、公開の話し合いが初めてできたことは鞆にとって有意義であった。	石井
高齢化率が高い鞆だが、集まった方々の約半数が若い人なので安心しました。	平二
インバウンド及び国内の観光客流入人口の取り込みには、スピード感が必要。観光関連の仕事を育てないと若い人の仕事は増やせない。対策は急務！	西
行政のまちづくりに関する仕組み。市と県、国の関係や手続きなどを住民が理解した上で話し合うことが重要。特に市と県の仕事の仕組みを図などでわかりやすく示してはどうか。	—
ワークショップの内容をまとめて各家庭に配布してほしい。（出席していない人にも認知してもらい、多数の参加を促すため）	関北
今月には市長が交代しますが、このワークショップがよい方向に進むことを願います。できれば、今回来られた方々の子ども世代にももっともっと参加してもらいたい。次の時代を鞆で生きる子ども達に。	西
ワークショップの目的が「鞆まちづくりビジョン」をつくるとはっきりしているので、今後自分達の話し合いでこのまちがどのように変わっていくのか楽しみです。	道越
すぐにできることはすぐに実行。	焚場
様々な意見があり、まとめが難しそう。	行政
多数の意見が出て、よい話し合いだと思いました。今後の活動が楽しみです。	—

<その他、ご意見、ご質問> つづき

■ 提案 ■ 指摘・質問 ■ その他

ご意見	町内会
県道の整備を早急にしてほしい。土●の問題について話をしたい。	平一
(市)開催の主旨、意向、市の基本姿勢が理解できない。	西
鞆のまちづくりは、道路の整備であると思う。何をどのようにしようと、道路の無い町では、発展はないと思います。	平三
まるつきりナンセンス。ワークショップの意味がわからない。市の幹部が来ているのになぜもっと具体的な話にしないのか？市が町づくりにかかわる意味はあるのか？	石井
桑子様。鞆は住民の中に対立があるのではなく、対立の構造を作ることでも求める形的手段として利用されてきたという歴史を理解していただきたいのです。鞆の良さ、文化、重要性は大きな意識の差はなく、意見は出やすいと思われれます。ではどのような町であってほしいかは、一人一人イメージも違うと思われれます。が、そういう方向に向かわない限り、行政の「住民の意見を聞きました」という言い訳に使われる恐れを強く感じます。本来は、和気藹々の話し合いが望ましいと思いますが、福山市は通常の市とは違うとご認識くださいませ。	西
しかし、まず突然始まったワークショップでびっくりです。きょうが「キックオフ」と挨拶の中で言われていましたが、試合の告知も、また何故その試合が行われるかのアナウンスも十分でないままのキックオフだと感じます。そして、たんたんに進められて・・・とにかくびっくりでした。	町外
望ましい将来像という形は、意見で答えが見つかるのだろうか？	石井浜
県はもちろん、国もしっかり協議をし、かつ公開性のある協議にしていきたい。まちづくりビジョンはこのワークショップの場で参加者同意の上で発表するようにしてほしい。ファシリテーターの思惑が入りすぎるワークショップは本来のワークショップにはなりません。	西
鞆学区まちづくり推進委員会にはどのような立場の方が関わっているのか？「地元の意見」とは？市は何を想定していらっしゃるのか？WSをただのパフォーマンスに終わらせないようにしていきたい。	—
岩木さんの声がうらやましい。	道越